

東京→北九州へ再生骨材の貨物輸送成功

日本アスファルト合材協会（日合協、今泉保彦会長）は9月11日、2度目になる再生骨材や再生路盤材の貨物コンテナ輸送を実施した。再生碎石を詰めたフレコンバッグ5袋（計5トン）を、砂町アスコン東京合材工場から三共建設アスファルト合材工場（北九州市）に貨物列車で輸送。日本通運の「コンテナ輸送お試し制度」を活用し、積み込みと荷下ろしはクレーン機能付きバックホウで行い、全行程を支障なく完了した。

千葉市から富山市への輸送に続く取り組みで、日合協は再生砕石の貨物輸送が実証的に可能と確認した。成果を踏まえ、日

三共建設アスファルト合材工場の再生骨材コンテナ荷下ろし状況（日合協提供）



での活用促進▽余
剰再生碎石を埋立
処分場に持ち込め
る制度設計――の
3点を関係機関に
提言していく方針
だ。

コンテナ貨物は
1編成当たり最大
輸送が可能。再生骨
材とした再生アスファ
ルトの場合、約2170トン
相当する。都市部か
再生骨材を輸送すれ

がれき類は67万トンに達するとの推計もある。その中にはアスガラやコンガラも含まれる。

ば、需給の偏在解消に寄与する
とみられる。

鉄道輸送網、補助制度整備など提言へ

千葉市から富山市への輸送に
続く取り組みで、日合協は再生
碎石の貨物輸送が実証的に可能
と確認した。成果を踏まえ、日

日刊建設工業新聞

2025年09月18日 002面 01版 No. 04